

科学研究費補助金（基盤研究（S））研究進捗評価

課題番号	20221007	研究期間	平成20年度～平成24年度
研究課題名	究極のナノスクイッドの開発とデバイス展開	研究代表者 (所属・職)	高柳 英明（東京理科大学・総合研究機構・教授）

【平成23年度 研究進捗評価結果】

評価	評価基準
	A+ 当初目標を超える研究の進展があり、期待以上の成果が見込まれる
○	A 当初目標に向けて順調に研究が進展しており、期待どおりの成果が見込まれる
	B 当初目標に対して研究が遅れており、今後一層の努力が必要である
	C 当初目標より研究が遅れ、研究成果が見込まれないため、研究経費の減額又は研究の中止が適当である
<p>(意見等)</p> <p>本研究は、磁場に対して超高感度な検出器である SQUID の特性を極限まで高めて単スピンの検出を試みることに、それを生かした超伝導材料などの新しいデバイスへの展開にある。研究は着実に進められており、特に極低温局所光照射系の開発などにおいて、順調に準備が進んでいるが、当初のテーマの大きさからすると、その目標との距離感はまだ大きい。物性研究を越えて、当初の目標に向けてさらなる努力を今後期待したい。</p>	